

衣笠祥雄旗争奪 第2回全京滋中学硬式野球大会

大会日程：11月7日(土)・14日(土)・15日(日)・21日(土)・23日(月・祝)

【試合開始予定】

- ①-9:00
- ②-11:20
- ③-13:40

優勝：京都シニア
 準優勝：湖北ボーイズ
 第三位：綾部シニア
 第三位：南山城ボーイズ

1	京都ボーイズ						
	舞鶴綾部ボーイズ	11月7日	3				
2	滋賀シニア	伏見桃山①	2	2			
	湖東シニア	11月14日					
3	滋賀ボーイズ	太陽ヶ丘球場①	9	6			
	湖北ボーイズ	11月15日					
4	京都ボーイズ	伏見桃山球場①		6			
	京都洛北ボーイズ	11月14日	5	0			
5	京滋ヤング	太陽ヶ丘球場②	11				
	京都ブラックス	11月21日					
6	京都シニア	笠置球場①		4			
	舞鶴シニア	11月14日	1				
7	京都ボーイズ	太陽ヶ丘球場③	6	5			
	京田辺ボーイズ	11月15日		0			
8	滋賀シニア	伏見桃山球場②					
	草津シニア	11月14日	11	4			
9	京滋ヤング	伏見桃山球場①	9				
	京都ビュールヤング	11月23日					
10	京都ボーイズ	太陽ヶ丘球場		2			
	京都南山城ボーイズ	11月14日	7				
	京都シニア	東舞鶴球場③	4	3			
11	京都丹後シニア	11月15日					
12	滋賀シニア	伏見桃山球場③		11			
	甲賀シニア	11月14日	5	2			
13	京都ボーイズ	伏見桃山球場③	6				
	福知山ボーイズ	11月21日		3			
14	滋賀ボーイズ	笠置球場②					
	南郷ボーイズ	11月14日					
15	京滋ヤング	鴻ノ巣球場①	5				
	京都ボーイズ	11月15日		8			
16	二冬ボーイズ	おくのの球場②	4	6			
17	滋賀シニア	鴻ノ巣球場②					
	彦根シニア	11月7日	1	5			
18	京都ボーイズ	伏見桃山②	10				
	京丹後洛南ボーイズ	11月23日					
19	京都ボーイズ	太陽ヶ丘球場		13			
	西京極ボーイズ	11月7日	4				
20	京都シニア	伏見桃山③	3	10			
	亀岡シニア	11月14日					
21	滋賀シニア	鴻ノ巣球場③	3	1			
	滋賀南シニア	11月15日					
22	京都ボーイズ	新旭球場②		8			
	洛中ボーイズ	11月14日	2	3			
23	京都シニア	東舞鶴球場①	9				
	綾部シニア	11月21日		0			
24	滋賀シニア	鴻ノ巣球場①					
	高島シニア	11月14日	14				
25	京都ボーイズ	多賀B&G①	8	2			
	東山ボーイズ	11月15日		4			
26	滋賀ボーイズ	新旭球場③					
	湖南ボーイズ	11月14日	11	5			
27	滋賀シニア	多賀B&G②	0				
	長浜シニア	11月23日					
28	京都ボーイズ	太陽ヶ丘球場		13			
	宇治ボーイズ	11月14日	3				
29	京滋ヤング	伏見桃山球場②	2	4			
	京都ヤングフレンズ	11月15日					
30	京都シニア	おくのの球場①		6			
	京都シニア	11月14日	2	5			
31	京都ボーイズ	東舞鶴球場②	12				
	嵯峨野ボーイズ	11月21日		10			
32	滋賀シニア	鴻ノ巣球場②					
	守山シニア	11月14日	7				
33	滋賀ボーイズ	多賀B&G③	1	0			
	近江ボーイズ	11月15日		4			
34	京滋ヤング	新旭球場①					
	京都ヤングベースボール	11月14日	1	5			
35	京都ボーイズ	鴻ノ巣球場①	6				
	京都嵐山ボーイズ						

優勝

大会規定付則

1. 試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後に、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。
2. 試合成立前に、試合続行が不可能になった場合は大会本部が指定した日時、場所で中断した状況で再開する。
3. 4回終了以降10点差の場合、コールドゲームとする。（ただし、決勝戦にはコールドゲームは適用しない。）
4. 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが延長10回あるいは試合開始から2時間を超えては（どちらか早い条件を採用）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（タイブレーク実施細則参照）
決勝戦では、上記ルールが採用され、尚且つ試合開始から2時間20分を超えては新しいイニングに入らない。
5. 特別代走を認める、死球などによる、一時的に休めば試合に出場できると審判員が判断した時に限り適用される。
この場合、その打者の最も近い打撃の完了した選手(投手を除く)を特別代走者とする。
6. 監督・コーチが一試合(7イニング)に投手のもとへいける回数を2回までとする。(投手を交代させた場合は回数として数えない)
監督・コーチが2度投手のもとへ行った後、3度目に行けば、その時の投手は自動的に交代しなければいけない。この場合、他の守備につくことはできるが、その試合で投手に戻ることはできない。また、監督・コーチが投手のもとへ行った場合を除き守備側のタイムは1試合(7イニング)で2回迄とする。(捕手は除く)攻撃側のタイムは1試合(7イニング)で2回までとする。
延長回に入って場合は、それ以前の回に関係なく監督・コーチがいける回数は3イニングにつき1回とする。
守備側のタイムは3イニングにつき1回とする。攻撃側のタイムは3イニングにつき1回とする。
7. ベンチは組み合わせ上段のチームが1塁側とする。
8. 投球回数確認シートを適用する。選手確認は選手に背番号・氏名を告げともらう。用具点検は審判員で行う。
9. ボールボーイは3名(ベンチ横2名外野1名)。尚、選手の少ないチームは父兄でも可能(ヘルメット着用)
グラウンドインから試合終了まで、監督・コーチ・スコアラー・登録選手以外はベンチに入る事はできない。
試合前のシートノックは5分とする。尚、守備につかずシートノックの補助をする登録選手は必ずヘルメットを着用する事。
コーチボックスには、監督、コーチ、選手のいずれかが入る。必ずヘルメットを着用する事。
10. ベンチ指導者は監督、コーチ、スコアラー。(監督、コーチ、選手は同一ユニフォームを着用)
11. その他特に定めのない限り、大会特別規定及び公認野球規則を適用する。